



Microsoft ID で使用 されるアプリの現状:

Azure AD アプリ ギャラリーのどのアプリが 2020 年に
人々の仕事、学習、コラボレーションに力を与えていたか



2020 年は、控えめに言っても前例のない年でした。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な大流行で、私たちの仕事、学習、コラボレーションの方法が根本的に変わりました。組織は、つながりと生産性を維持すると同時に業務に必要なアプリとリソースに安全にアクセスするための、新しい方法を見つけなければなりませんでした。Microsoft 自身のサービス、たとえば Teams は、この感染症大流行中におけるリモートやハイブリッドでの仕事と学習のためのライフラインとなりました。[1 日あたりのアクティブ ユーザー数は 2020 年 3 月の 4,400 万人](#)から急増し、[同年 10 月には 1.15 億人](#)に達しています。しかし私たちは、ビジネスの成功のためには多数のツールとアプリが必要であることを理解しており、[ソリューションがどのプラットフォームでもシームレスに、安全に稼働することと、すべてのクラウドとアプリに拡張することをお約束しています](#)。

先頃、私たちはエンタープライズ クラウド アプリの使用状況を分析し、組織がどのアプリケーションをどのように Azure AD でセキュリティ保護しているかを詳しく調べました。この分析では、[Azure AD アプリ ギャラリー](#)の中で組織のアプリケーション使用状況を調べました。したがって Microsoft のアプリケーション（Azure、Dynamics、Office 365、Teams など）は除外されています。Azure AD アプリ ギャラリーは、あらゆる種類のアプリを簡単にセキュリティ保護して管理できるように用意されたものであり、事前統合された数千点のアプリが登録されています。大小さまざまな規模のお客様企業がアプリをすべて Azure AD と統合しており、従業員に手軽で安全なエクスペリエンスを提供しています。ここでは、2020 年のアプリの使用状況がそれまでの年と比較してどう変化したかについて、詳しい分析の結果をご紹介します。

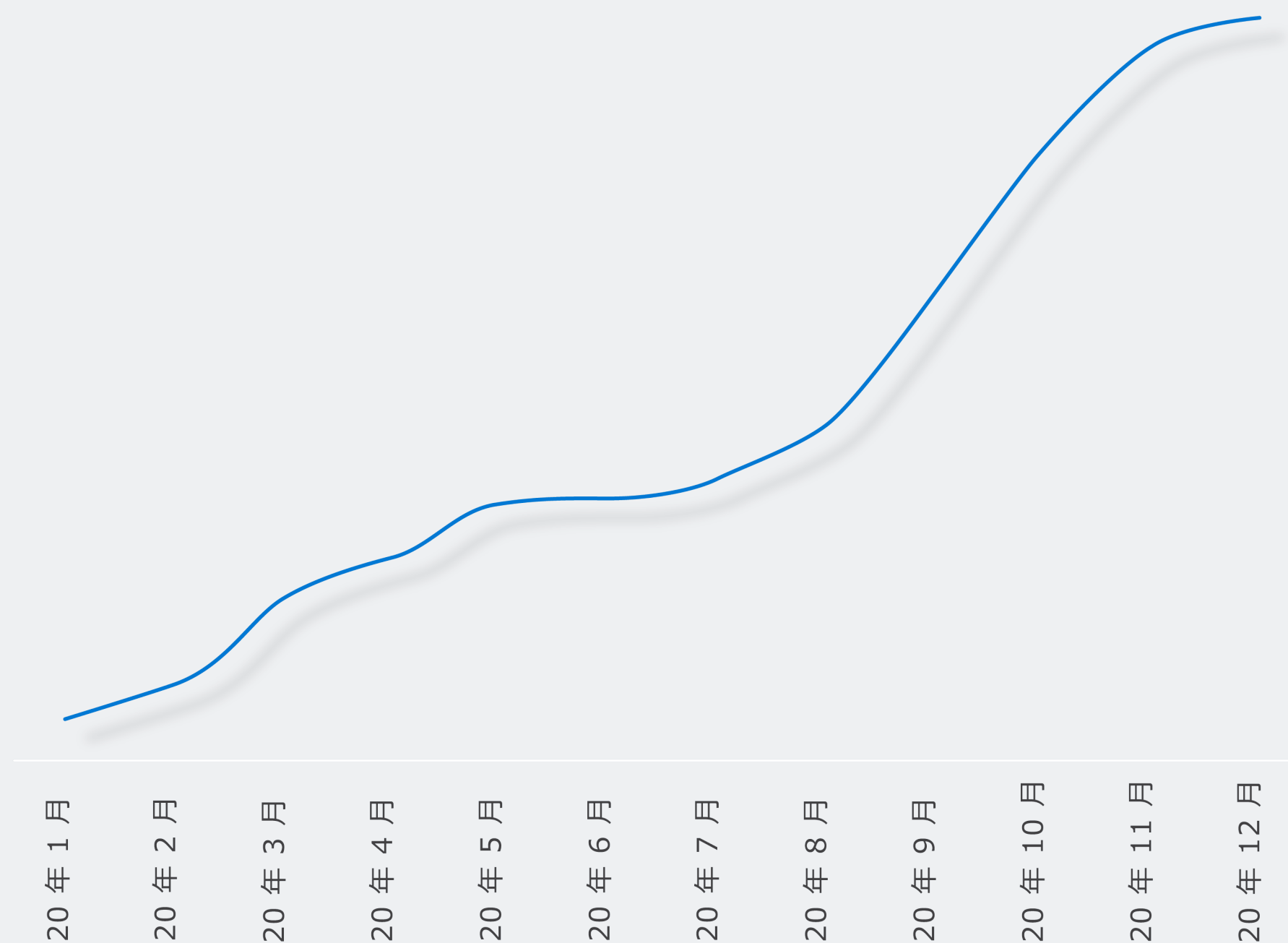


リモートワークを実現するセキュリティとコラボレーションのアプリが上昇

2020 年の課題に直面して、リーダーは優先事項の再考を迫られています。チームがアプリにいつでも、どこからでも安全にアクセスできるようにするためです。統計にもこれが反映されています。たとえば、Azure AD アプリ ギャラリーのアプリの月間アクティブ ユーザー数は前年比で 109% 増加しています。そして昨年 [Microsoft が実施した調査](#)で、800 人のビジネス リーダーにパンデミック脅威の状況について見解を尋ねたところ、「リソース、アプリ、データへの安全なリモート アクセスを提供すること」が第 1 の課題として挙げられています。

Azure AD アプリ ギャラリーの使用は前年比 109% 増加

月間アクティブ ユーザー数



出典: Azure AD アプリ ギャラリーで利用できるアプリケーションから入手したデータ、2020 年 12 月。Microsoft が所有するアプリケーション (Office 365、Teams、Azure、Dynamics、その他の Microsoft アプリ) は除外されています。



それを考えると当然とも言えますが、オンプレミスとクラウドのリソースへの安全なリモート アクセスに役立つアプリとサービスは、途方もない成長を昨年に見せています。すべてのアプリ（これにはレガシの、オンプレミスのアプリも含まれます）へのリモート アクセスは新しい働き方においてきわめて重要になっていることを、組織は認識しています。Citrix ADC、Palo Alto Networks Prisma Access、Zscaler Private Access などのセキュリティ ツールは、従業員がどのアプリにも、場所を問わず安全にアクセスするのに役立ちますが、今やビジネス クリティカルとなっており、アプリ ギャラリーのアプリケーションの中でもこの 1 年間に最速の成長を見せています。

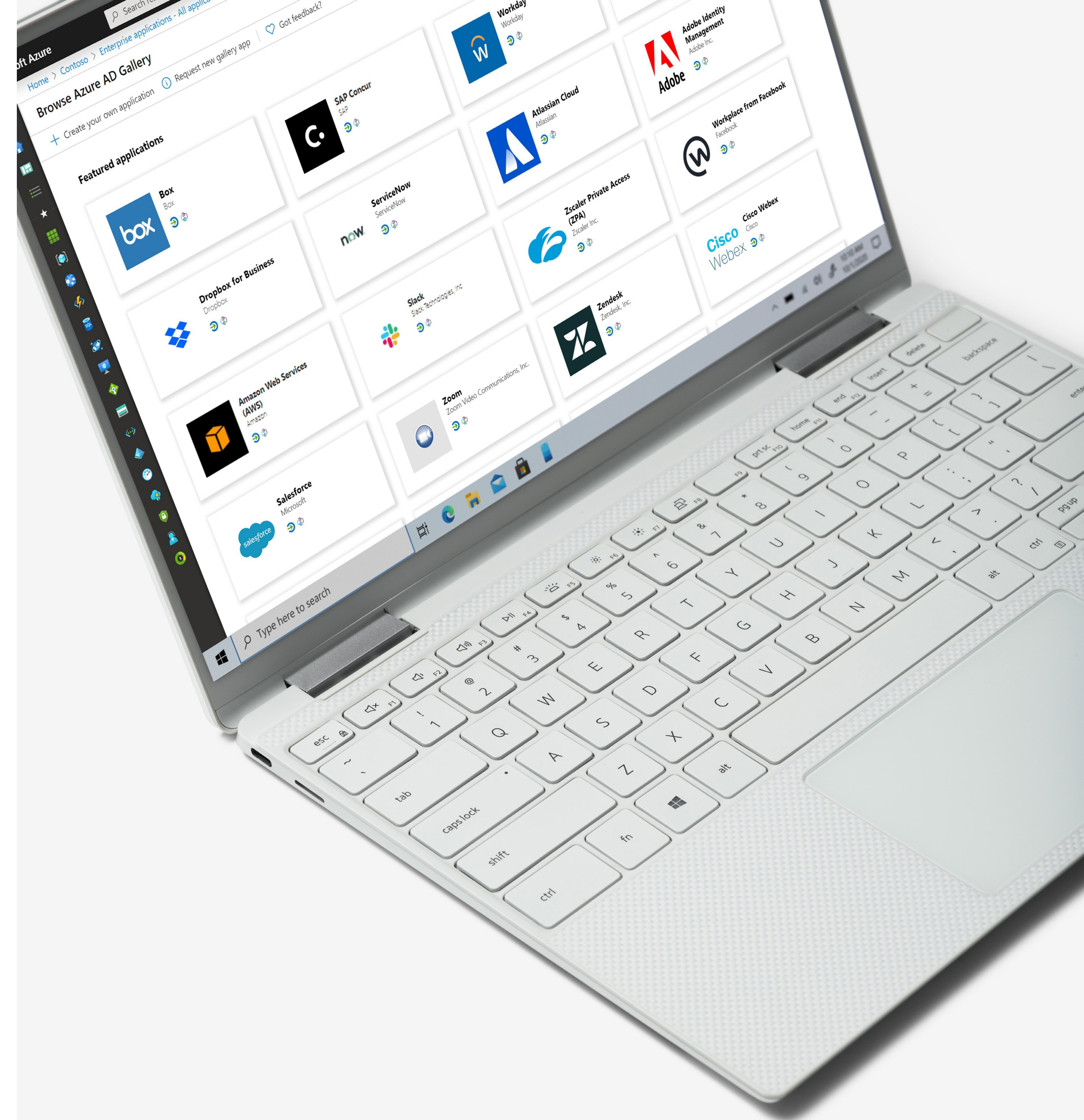
セキュリティ領域への投資の増加に加えて、コミュニケーションとコラボレーションのアプリも事業継続性を確実にする手段となっています。アプリをセキュリティで保護することはチーム活動です。そのため、私たちはあらゆる種類のアプリ プロバイダーと緊密に連携し、Microsoft とは競合関係にあったとしても、そのアプリを Azure AD と統合しています。Cisco Webex、Google Cloud / Google Workspace、Workplace from Facebook、Zoom のようなアプリは、Azure AD でセキュリティ保護されるアプリの中でも上位に位置しており、組織の生産性を維持しながら従業員がつながりを感じられるようにするのに役立っています。

他にも、いくつかのアプリが人気のアプリ リストに常にランク入りしています。SAP SuccessFactors や Workday などの人事アプリや、ServiceNow などの IT サービス管理アプリは 2020 年も引き続き、広く利用されています。

2020 年の上位アプリ

この世界的な感染症大流行は明らかに、よく使われるアプリの傾向に影響を与えています。リモートワークに移行して生産性を向上している企業は、コミュニケーション、コラボレーション、セキュリティを強化するアプリを利用しています。

初めて、Palo Alto Networks Prisma Access や Zscaler Private Access などのセキュリティアプリが月間アクティブユーザー数のトップ 15 に登場しました。その他に初のトップ 15 入りを果たしたアプリとしては、コラボレーションとコミュニケーションのための Workplace from Facebook と Zoom があります。Zoom は 2020 年に初めてトップ 15 入りしただけでなく、第 5 位まで上り詰めました。



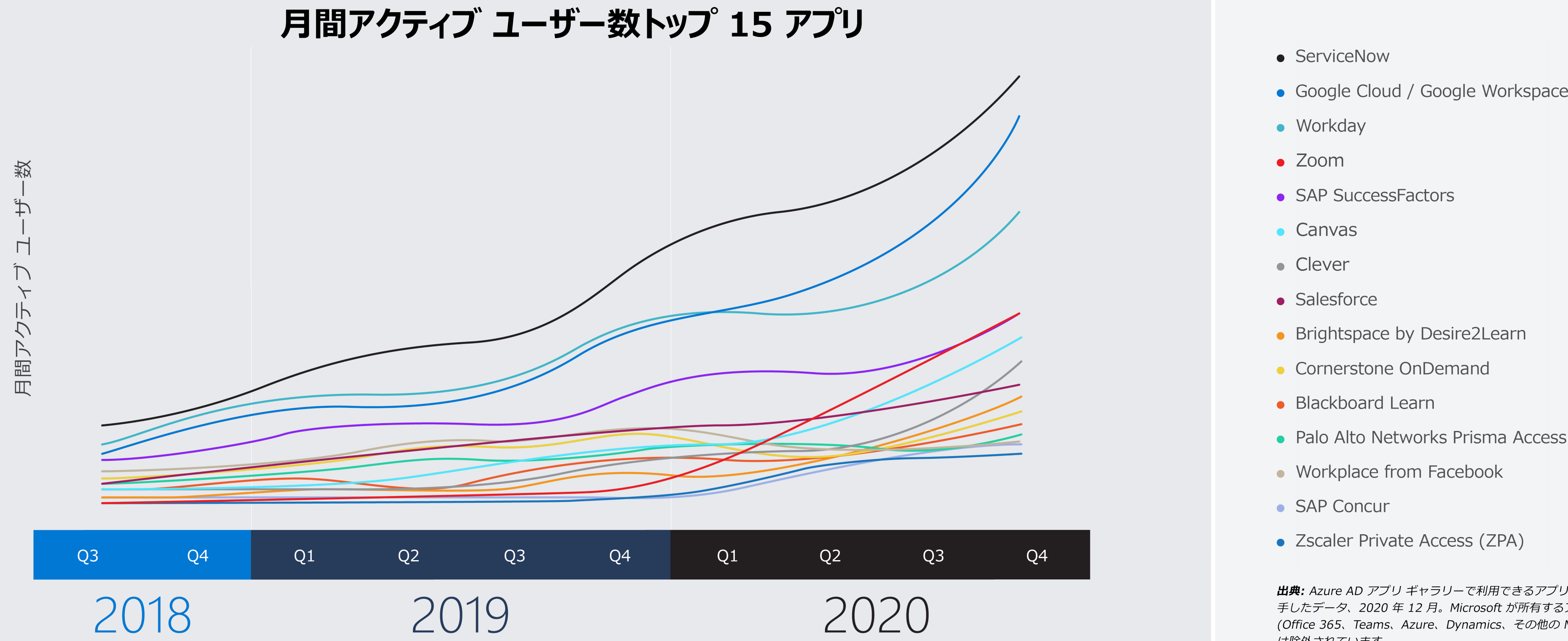
月間アクティブ ユーザー数トップ 15 アプリ

順位	2020	2019	2018
1	ServiceNow	ServiceNow	ServiceNow
2	Google Cloud / Google Workspace	Workday	Workday
3	Workday	Google Cloud / Google Workspace	Google Cloud / Google Workspace
4	SAP SuccessFactors	SAP SuccessFactors	SAP SuccessFactors
5	Zoom	Salesforce	SAP Concur
6	Canvas	SAP Concur	Salesforce
7	Clever	Clever	Canvas
8	Salesforce	Canvas	Clever
9	Brightspace by Desire2Learn	Blackboard Learn	Blackboard Learn
10	Cornerstone OnDemand	Cornerstone OnDemand	Cornerstone OnDemand
11	Blackboard Learn	Box	Box
12	Palo Alto Networks Prisma Access	Brightspace by Desire2Learn	SAP NetWeaver
13	Workplace from Facebook	SAP NetWeaver	Cisco Webex Meetings
14	SAP Concur	Cisco Webex Meetings	Brightspace by Desire2Learn
15	Zscaler Private Access (ZPA)	UltiPro	UltiPro

出典: Azure AD アプリ ギャラリーで利用できるアプリケーションから入手したデータ、2020 年 12 月。Microsoft が所有するアプリケーション (Office 365、Teams、Azure、Dynamics、その他の Microsoft アプリ) は除外されています。

ServiceNow は 3 年連続で月間アクティブ ユーザー数の首位に立っています。
Google Cloud / Google Workspace、SAP SuccessFactors、Workday はこの
数年、常に上位にランク入りしています、規模を問わずどの組織も人事、IT サービス管理、
一般的な生産性向上のアプリケーションを必要としているためです。

2020 年第 1 四半期から 2020 年第 2 四半期にかけて、世界が感染症の流行拡大に
見舞われたとき、これらのアプリの多くの使用が加速し、ユーザーのための安全なリモート アクセ
ス実現とデジタル ワークフローの管理に役立っています。



また、月間アクティブ ユーザー数で見た人気アプリと、組織数で見た人気アプリを比較すると、わずかな違いがあることもわかりました。組織数で見た人気度が示しているのは、お客様によく使用されているアプリです。組織がビデオ会議への依存を増やしていることから、Zoom が 2018 年の第 10 位から 2020 年には第 1 位に飛躍し、トップ 2 にいた Google Cloud / Google Workspace と Salesforce を押し下げています。

Zoom に加えて、KnowBe4 Security Awareness が 2020 年のトップ 5 アプリにランク入りしました。2018 年の第 12 位から 2019 年には第 8 位に上昇し、2020 年第 2 四半期の開始から同年末まで着実に使用の増加が続きました。このことは、従業員のセキュリティトレーニングと認識向上の重要性を強調しています。

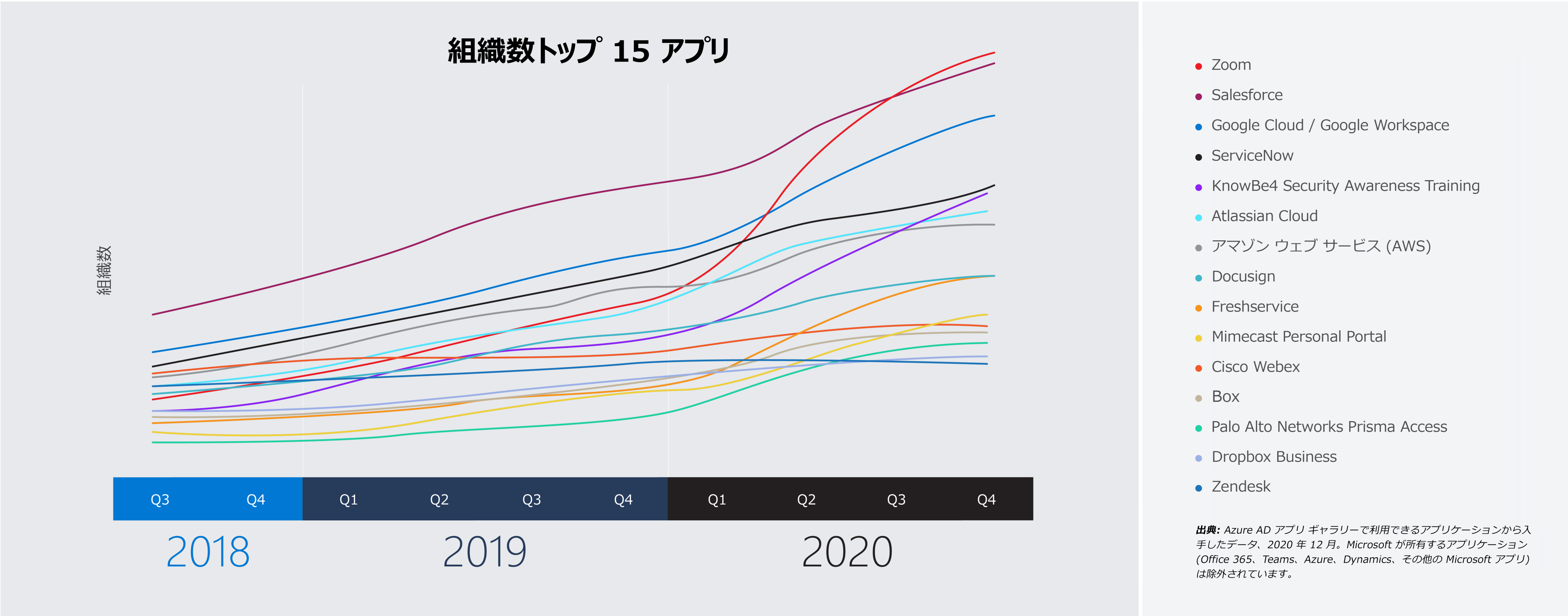
組織数トップ 15 アプリ

順位	2020	2019	2018
1	Zoom	Salesforce	Salesforce
2	Salesforce	Google Cloud / Google Workspace	Google Cloud / Google Workspace
3	Google Cloud / Google Workspace	ServiceNow	ServiceNow
4	ServiceNow	Adobe Creative Cloud	アマゾン ウェブ サービス (AWS)
5	KnowBe4 Security Awareness Training	アマゾン ウェブ サービス (AWS)	Atlassian Cloud
6	Atlassian Cloud	Zoom	Adobe Creative Cloud
7	アマゾン ウェブ サービス (AWS)	Atlassian Cloud	Dropbox Business
8	Docusign	KnowBe4 Security Awareness Training	Box
9	Freshservice	Freshservice	Freshservice
10	Mimecast Personal Portal	Box	Zoom
11	Cisco Webex	Dropbox Business	SAP Concur
12	Palo Alto Networks Prisma Access	SAP Concur	KnowBe4 Security Awareness Training
13	Box	Slack	Citrix ShareFile
14	Dropbox Business	Zendesk	Slack
15	Zendesk	Citrix ShareFile	Zendesk



Cisco Webex、DocuSign、Mimecast Personal Portal、Palo Alto Networks Prisma Access は 2020 年に初めてこのランキングに登場し、私たちの分析で見えてきた変化を改めて裏付けています。

ランキング上位にいるセキュリティやコラボレーションのアプリとは異なり、SAP Concur (出張/経費管理サービス) のようなアプリはトップ 15 の圏外となっています。移動の制限が理由で、それまで仕事の出張が多かった人々も対面のミーティングの代わりにバーチャルの通話を自宅から行うようになりました。



組織規模別の人気アプリ

よく利用されるアプリを組織の規模別に分析して明らかになったのは、規模を問わず共通して導入されているアプリがいくつかあることです。具体的には、Google Cloud / Google Workspace、Salesforce、Zoom です。

対照的に、人事や IT サービス管理のアプリ（感染症流行中の事業継続性を確実にするために必要です）の導入状況は、組織の規模によって異なっています。これらのアプリは、リモートのオンボーディングとオフボーディングの実現に役立つだけでなく、IT チームがアプリケーション、デバイス、サービスに関する従業員のリクエストに応えるのに役立ちます。

エンタープライズとミッドマーケットの組織では、SAP SuccessFactors や Workday などの人事アプリが使用され、小規模ビジネスでは BambooHR がよく使用されています。UltiPro や Cornerstone OnDemand などの人事アプリは、ミッドマーケットの企業によく使用されています。

エンタープライズとミッドマーケットの組織では IT サービス管理のアプリ ServiceNow がよく導入されていますが、小規模ビジネスでの使用が多いのは Freshservice です。

エンタープライズ (月間アクティブ ユーザー数 5,000 以上)	ミッドマーケット (月間アクティブ ユーザー数 250 - 4,999)	小規模ビジネス (月間アクティブ ユーザー数 250 未満)
ServiceNow	Google Cloud / Google Workspace	Google Cloud / Google Workspace
Google Cloud / Google Workspace	ServiceNow	Zoom
Workday	Workday	Salesforce
SAP SuccessFactors	Zoom	Atlassian Cloud
Zoom	Salesforce	BambooHR
Cornerstone OnDemand	SAP SuccessFactors	KnowBe4 Security Awareness Training
Salesforce	UltiPro	Box
Workplace from Facebook	Palo Alto Networks Prisma Access	Freshservice
SAP Concur	KnowBe4 Security Awareness Training	Palo Alto Networks Prisma Access
Zscaler Private Access (ZPA)	Cornerstone OnDemand	Zendesk

業種別の人気アプリ

同じ幅広いトレンドとアプリ使用状況は、業種別の人気アプリのランキングにも当てはまります。Google Cloud / Google Workspace、Salesforce、ServiceNow、Workday、Zoom などのアプリは、どの業種でもよく利用されています。セキュリティ、コラボレーション、ワークフロー管理は、業種間の差があるものの、この 1 年間の優先事項となっています。

教育という業種では、人気のアプリの顔ぶれが独特であり、Brightspace、Canvas、Clever などのアプリが第 5 位までに入っています。これらの学習管理システムは、この 1 年間、学校などの教育機関がリモート ラーニングに適応してデジタル授業の中央ハブを作るのに役立ってきました。

[現場担当者](#)に依存するシフトベースの業種、たとえば小売や医療では、Kronos がよく使われるアプリの 1 つであり、従業員管理に関するアクティビティ (従業員のスケジュール管理など) に役立っています。



業種別の人気アプリ

旅行	電気通信	小売	専門サービス
ServiceNow	Workplace from Facebook	Workday	ServiceNow
Cornerstone OnDemand	SAP SuccessFactors	SAP SuccessFactors	Workday
Workday	ServiceNow	ServiceNow	Salesforce
SAP SuccessFactors	Workday	Kronos	Zscaler Private Access (ZPA)
Dynamic Signal	Slack	Workplace from Facebook	Zoom
製造	医療	行政	金融サービス
ServiceNow	ServiceNow	ServiceNow	ServiceNow
Workday	Workday	SAP SuccessFactors	Workday
SAP SuccessFactors	Kronos	Zoom	Salesforce
Salesforce	SAP SuccessFactors	Google Cloud / Google Workspace	SAP SuccessFactors
SAP Concur	Google Cloud / Google Workspace	Workday	Zoom
教育	消費財	自動車	エネルギー
Google Cloud / Google Workspace	ServiceNow	ServiceNow	ServiceNow
Canvas	SAP SuccessFactors	Workday	SAP SuccessFactors
Clever	Workday	Cisco Webex	Workday
Zoom	Workplace from Facebook	Cornerstone OnDemand	Palo Alto Networks Prisma Access
Brightspace by Desire2Learn	SAP Cloud Platform Identity Authentication	SAP SuccessFactors	Zscaler Private Access (ZPA)

カテゴリ別の 人気アプリ

今年は、アプリ カテゴリ別の人気アプリも月間アクティブ ユーザー数に基づいて分析しました。教育アプリからセキュリティ アプリ、さらには IT サービス管理アプリなど、多様な 10 のアプリ カテゴリについてトップ 5 アプリを調べて表にまとめました。

教育	人事	セキュリティ	IT サービス管理	データ サービス
Canvas	Workday	Palo Alto Networks Prisma Access	ServiceNow	Tableau
Clever	SAP SuccessFactors	Zscaler Private Access (ZPA)	Freshservice	Domo
Blackboard Learn	Cornerstone OnDemand	KnowBe4 Security Awareness Training	TOPdesk	SAP Analytics Cloud
Brightspace by Desire2Learn	UltiPro	Cisco AnyConnect	Dialpad	Splunk Enterprise と Splunk Cloud
Apple School Manager	Kronos	Citrix ADC	Ivanti Service Manager (ISM)	Snowflake
出張/経費	CRM	コミュニケーション とコラボレーシ	コンテンツ管理	プロジェクト管理
SAP Concur	Salesforce	Google Cloud / Google Workspace	Box	Smartsheet
Coupa	Zendesk	Zoom	Templafy OpenID Connect	Atlassian Cloud
Expensfiy	FreshDesk	Cisco Webex	Docusign	Workfront
Certify	HappyFox	Workplace from Facebook	Citrix ShareFile	Miro (旧 RealtimeBoard)
GetThere	UserVoice	Slack	Dropbox Business	MindMeister



2020 年の最速 成長アプリ

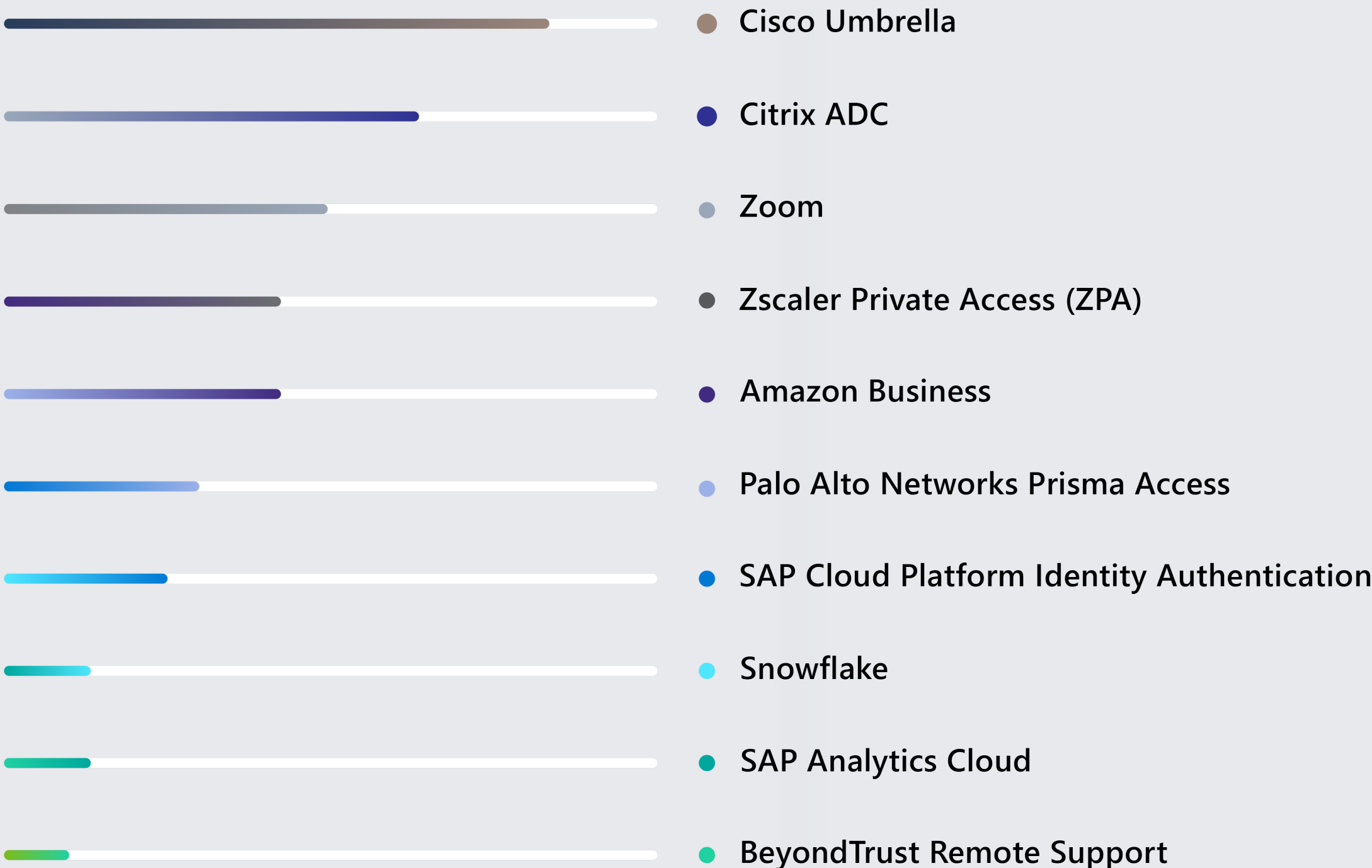
従業員の安全なリモートワークに役立つアプリは、人気が高いだけでなく、成長の速さでも上位に位置付けられています。2020 年の最速成長アプリ トップ 10 の半数は、セキュリティに焦点を当てるものでした。[安全なハイブリッド アクセス](#) パートナーシップからのアプリ、つまり Citrix ADC、Palo Alto Networks Prisma Access、Zscaler Private Access は、レガシやオンプレミスのアプリへのアクセスを可能にするものですが、これらも急速に成長しています。セキュリティ アプリは他にも、この 1 年間に最も速い成長を見せたアプリ Cisco Umbrella や、BeyondTrust Remote Support があります。

Zoom は 2020 年に並外れた成長を見せており、組織で最もよく使用されるアプリとなっています。この 1 年間の成長の速さで第 3 位に位置付けられていますが、以前から人気で広く利用されていたことを考えると、実に印象的です。データ管理と分析のソリューションも、この年に急速な成長を示しています。Snowflake と SAP Analytics Cloud は、成長の速いアプリのランキングの第 8 位と第 9 位です。

この 1 年の間に、Amazon Business も急速な成長を見せたアプリの 1 つとなっています。Amazon Business はマーケットプレイスであり、購入プロセスをシンプルにするとともに、商品を組織に届けるのに役立っています。この感染症大流行で、消費者のオンラインショッピングが加速しましたが、企業でも同じです。企業が購入と調達をオンラインに移行した結果、Amazon Business が 2020 年の最速成長アプリ第 5 位となっています。

最速成長アプリ トップ 10 (月間アクティブ ユーザー数を基準とする)

(2019 年の顧客数が 100 以上であるもの)



対前年成長率

安全なデジタル トランスフォーメーション

月間アクティブ ユーザー数、組織数、業種、顧客タイプ別の人気アプリ ランキングでも、2020 年の最速成長アプリのランキングでも、セキュリティへの投資は紛れもないトレンドです。この感染症大流行でデジタル トランスフォーメーションのタイムラインが加速しただけでなく、高度なセキュリティの必要性が増加しました。ユーザーが、どこで仕事をするかにかかわらず安全にアクセスできるようにするのに必要であるからです。

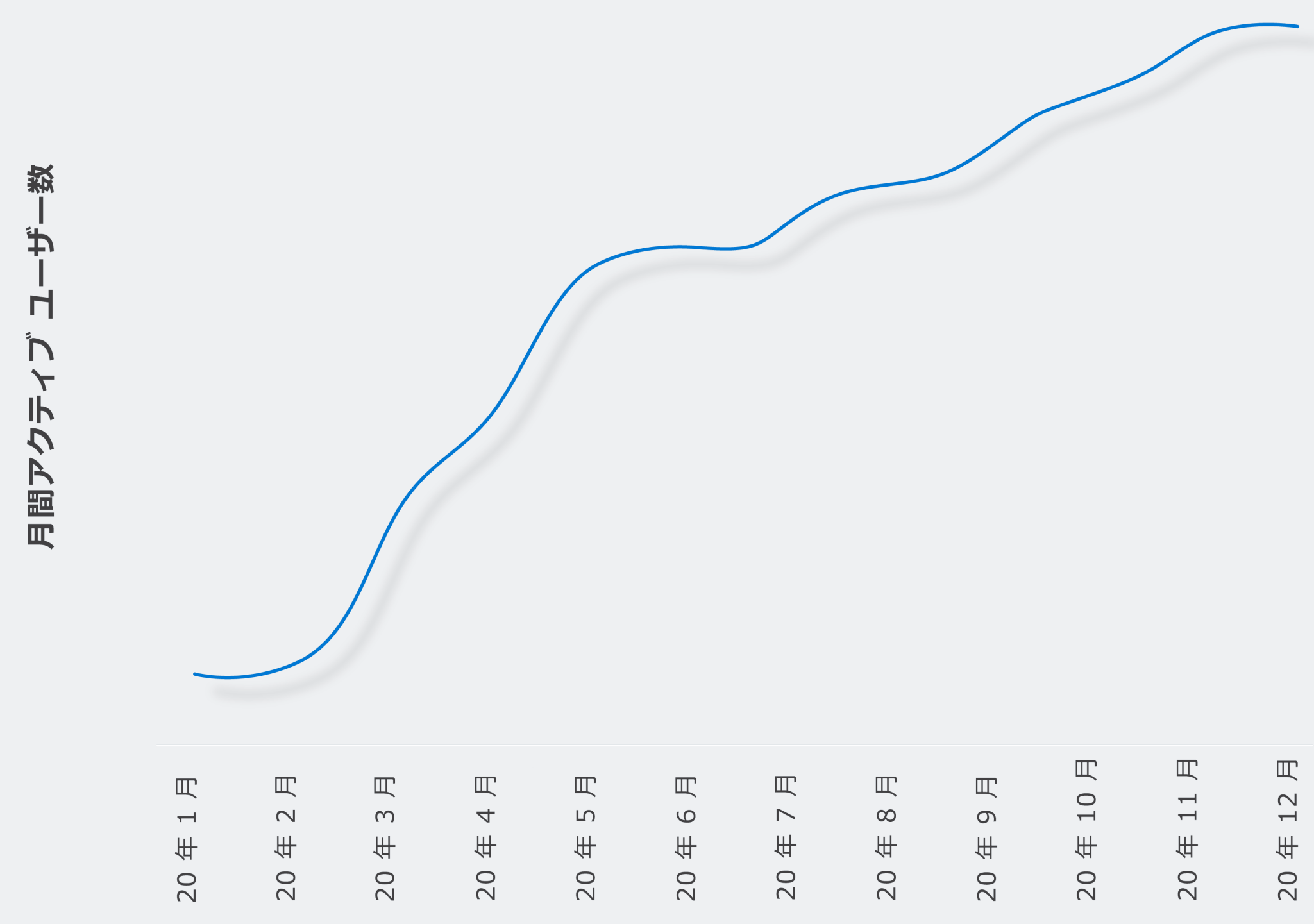
多要素認証 (MFA) などのセキュリティ機能に注目するユーザーが増えており、Azure AD での MFA を利用する月間アクティブ ユーザーの数は前年比 150% の成長を見せています。

[パスワードレス テクノロジーにとっても、画期的な年となりました](#)。Azure AD でのパスワードレスの使用状況については、Windows Hello for Business、Microsoft Authenticator でのパスワードレス電話サインイン、FIDO2 セキュリティ キーの使用の増加率が 50% を超えています。



Microsoft の Azure AD アプリ プロキシというサービスは、重要なオンプレミスのアプリにリモート アクセスするのに役立ちますが、これもこの 1 年間に大きな成長を見せています。2 月から 3 月にかけて、感染症大流行が世界に広がり始めたとき、月間アクティブ ユーザー数は約 60% 跳ね上がりました。それ以来、月間アクティブ ユーザー数は上昇を続けており、2019 年 12 月から 2020 年 12 月までの間に約 100% 増加しています。Azure AD アプリ プロキシを利用すると、オンプレミスに存在するミッション クリティカルなアプリへの安全なリモート アクセスや、レガシの認証プロトコル (HTTP やヘッダー ベースなど) の使用を短期間で実現することができます。

Azure AD アプリ プロキシの使用は前年比 100% の増加



2020 年についてのも

ユーザーも、組織も、産業も、セキュリティとコラボレーションの向上に力を入れています。安全なアクセスと信頼できるコミュニケーションを可能にするクラウド ベースのアプリは、組織の日々の業務運営に欠かせないものとなっています。

アプリ導入が増加しており、デジタルの世界の変化によって人々の働き方も変わりました。Palo Alto Networks Prisma Access などのセキュリティ アプリから Blackboard Learn などの教育アプリ、Zoom や Teams などのコミュニケーション アプリに至るまで、クラウド アプリは人々がすべきことを完了するためにますます欠かせないものとなっています。これらのトレンドは 2020 年の後も続くと考えられます。セキュリティが最優先事項であることは変わらず、リモート ワークにはこれからも高度なコミュニケーションとコラボレーションの機能が必要であるからです。2020 年の後も、企業は引き続き、リモート ワークへの移行が文化とビジネスに与える影響を評価し、その移行によって 2021 年には自分たちがどこに向かうことになるかを理解しようとするでしょう。

組織で使用するアプリすべてを Azure AD に接続することは、アクセスを安全に保護して効率化すると同時に管理をシンプルにしてコストを削減するのに役立ちます。実際に、Azure AD ですべてのアプリをセキュリティ保護することの[投資利益率は 123% に達すると Forrester は推計しています](#)。従業員が在宅勤務のときも生産性を維持するのに役立つ方法については、[安全なリモート ワークのリソース](#)にアクセスするか、[Azure AD をリモート ワークの実現に役立てる 5 つの方法](#)をご覧ください。今年のアプリトレンド データ レポートがお役に立てば幸いです。来年もどうぞご期待ください。

方法論

Microsoft はプライバシーを真剣に受け止めています。レポートの作成に使用するデータからは、個人データや組織を特定可能なデータ（たとえば会社名）をすべて取り除いています。お客様のコンテンツ（メール、チャット、ドキュメント、会議でやり取りされる情報など）をレポート作成に使用することはありません。このレポートに使用されているアプリケーションの使用状況とトレンドのデータの分析は、Azure AD アプリ ギャラリーで利用できるアプリケーションに基づくものです。Microsoft が所有するアプリケーション（Office 365、Teams、Azure、Dynamics、LinkedIn、GitHub、その他の Microsoft アプリケーション）はこのレポートから除外されています。このレポートには 2018 年 12 月 31 日から 2020 年 12 月 31 日までのデータが含まれています。





©2021 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, Windows, Windows Vista およびその他の製品名は米国およびその他の国における登録商標または商標の可能性あります。

本ドキュメント内の情報は情報提供のみを目的としており、本プレゼンテーションの実施日時点の Microsoft Corporation の見解を表すものです。Microsoft は変化する市場状況に対応する必要があるため、これを Microsoft 側の確約とはみなされたいものとします。また、Microsoft は提示されているいかなる情報についても、その正確性を本プレゼンテーションの実施日の後も保証することはできません。Microsoft は本プレゼンテーションに含まれる情報について、明示、黙示、法定を問わず、一切の保証を行いません。

